

環境省花粉観測システム（愛称：はなこさん）の概要

1. 経緯

平成14年度から構築を開始。

平成14年度は関東地域、15年度は関西地域、16年度は中部地域に、花粉自動計測器を設置。

2. 花粉観測システムの構成

環境省花粉観測システムは、「花粉飛散データ収集部門」と「花粉情報表示部門」とで構成。

花粉飛散データ収集は、花粉自動計測器の計測データを収集し、花粉飛散データベースを作成。

花粉情報の表示は、収集した花粉飛散データと気象データを組み合わせ、花粉飛散量、飛散方向などの表示を行うもの。

これらのデータは1時間ごとに自動的に更新され、常に最新の情報を提供している。

3. 花粉観測地点

花粉の発生源である山間部と人口が密集している都市部とに、均等になるように花粉自動計測器を設置。関東、関西、中部地域の55カ所（厚生労働省設置の10カ所を含む。）で測定。

4. 花粉観測システムの活用

花粉症の方が多く居住する都市部の花粉飛散状況、花粉の発生源である山間部の花粉飛散状況、山間部から都市部への花粉の移動を支配する風向、風速の状況をリアルタイムで把握。

これらのデータを、花粉症の方が、花粉暴露からの回避行動や予防対策に活用。

5. 今春における花粉観測システムの稼働

平成17年1月17日（月）から稼働。4月6日現在、約850,000件のアクセスがある。

6. 今後の整備スケジュール

平成17年度：中国、四国地域

平成18年度：九州地域

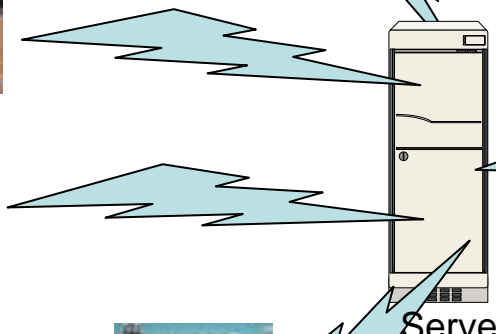
平成19年度：東北、北海道地域

花粉観測システム(はなこさん)の概要



環境省は、山間部と都市部に花粉自動計測器を設置して花粉飛散数を測定し、その結果をリアルタイムでホームページで公開しています。

URL ; <http://kafun.nies.go.jp/>



Server

